

2022年 新春対談



町制施行 50 周年を経て、三芳町の新しい一歩となる 2022 年の幕が開けます。今回の広報では三芳町にゆかりがある 3 人が町長と対談。昨年の活躍の振り返りと未来に向けての抱負についてお話をいただきました。



映画監督
今村 彩子 さん



東京藝術大学 音楽学部楽器科
ピアノ専攻 3 年生
岩井 亜咲 さん



大崎電気ハンドボール部
OSAKI OSOL
元木 博紀 さん



三芳町
林 伊佐雄 町長

Profile

1979 年生まれ。映画監督。生まれつき耳がきこえない。制作した映画『Start Line』は 2020 年 8 月に三芳町 HP で期間限定オンライン公開され、共生社会の実現について考える機会となった。2021 年には東日本大震災を題材にした映画『きこえなかったあの日』が「文化庁映画賞 文化記録映画部門」優秀賞を受賞。

三芳町のお気に入り焼酎「富の紅赤」。緑が好きで、こぶしの里や俣埜公園を散策するのが今後の楽しみ。

Profile

2000 年生まれ。三芳町在住。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学在学中。第 18 回ショパン国際ピアノコンクール本大会出場。コピスみよしのソロリサイタルをはじめ、カワイニューアーティストコンサート、ヤマハサロンコンサートなど多数のコンサートに出演。2/25(金)赤坂迎賓館にてエラーールピアノ演奏会、10/2(日)神奈川県立音楽堂にて神奈川フィルハーモニーと共演を予定。現在、白水芳枝、藤井隆史、有森博の各氏に師事。

Profile

1992 年生まれ。三芳町在住。小学校 1 年生の時にハンドボールを始める。OSAKI OSOL のサウスポーエース。豊富なシュートバリエーションやスピードに定評がある。第 25・26・27 回世界選手権日本代表に選出され、社会人選手権最優秀選手賞を受賞。第 19 回男子アジア選手権 3 位、2 大会ぶりのメダル獲得に大きく貢献。東京 2020 五輪のハンドボール日本代表選手として出場し、五輪日本ハンドボール勢の 33 年ぶりの勝利に貢献した。



映画監督

今村 彩子 さん

光が当たらないところにカメラを向きたい。

「悩み」や「揺れ」を大切に。

文化庁映画賞の受賞

町長…2021年は映画『きこえなかつたあの日』が「文化庁映画賞 文化記録映画部門」優秀賞を受賞されましたね。おめでとうございます。

今村…ありがとうございます。受賞の連絡を受けた時、「まさか自分か」と驚くと共に、応援してくださった三芳町の皆さまをはじめ、多くの方の顔が浮かびました。町長…活躍の裏には困難や苦勞もあると思いますが、どうやって乗り越えるのでしょうか。

今村…そもそも、根が明るいのです。「だいじょうぶ、何とかなる」と思って、そう言い聞かせますが、気持ちが減入っている時、つらい時は、日記に気持ちを吐き出したり、散歩などで体を動かして気持ちを切り替えたりします。体が疲れている時は、頑

張るのをやめて、録画したドラマを見たり、チャ子（猫）と遊んだりしています。これは映画『Start Line』の哲さんの教えです。「カラダが疲れている時は休め、ココロが疲れている時は動け」という。自転車旅はもう7年前のことですが、今でも悩んだり停滞している時は、哲さんの教えを頭に思い浮かべます。

町長…あの旅が大きな糧になっているんですね。

今村…ひとりでは解決できない時は、信頼できる友人に相談に乗ってもらいます。そのため、映画が完成した時は、力を貸してもらった皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいになります。「みんなのおかげ」、「ありがたいな」と。

2022年を迎えて

町長…2022年の抱負をお願いします。

今村…これまで様々な問題で生きづらさを抱えている人など光が当たらない所に、少しでもカメラを向けられたら、そんな想いで作品をつくってききました。でも、映画で社会は変えられませんが、変えられるのは「ひと



です。映画を観てくださる方が変えたいわけではなく、まず自分が変わりたいんです。「変える」「変えられる」という関係ではなく、自分が変わったことを見ていただいて、それを何かの参考にしてもらえたらという感じです。そんな撮影や編集、上映で得た「悩み」や「揺れ」を大切にしながら映画制作をしていきたいと思っています。

町長…住民の皆さんへ向けてメッセージをお願いします。

今村…映画『Start Line』、去年、一昨年はオンライン上映でしたが、今年是对面の上映でぜひ住民の皆さまと交流できたら嬉しいと思っています。また、三芳町の豊かな自然の中で、一緒にサイクリングできたら最高だなとも思っています。

町内中学校で映画『Start Line』上映

三芳町では、誰もが幸福に生きていける共生社会の実現について考えるきっかけとするため、町内中学校で『Start Line』の上映を実施しています。

12/20(月)にいち早く藤久保中学校で行われた上映では、227人の生徒が鑑賞。「自分も今村監督のように勇気を出して困難に立ち向かわなければならないと思いました。」という感想や共生社会について「その人、その人の個性、感じ方を考え共に支え合いコミュニケーションを取ることが大切なことだと思う。」といった声が聞かれました。



▲町内小学校での上映の様子。

